

令和6年2月21日

古河市議会議長 赤坂 育男 殿

古河市議会議員 (1番) 印出 慎也

一般質問通告書

令和6年2月28日(から令和6年3月15日まで)の第1回古河市議会定例会において、古河市議会会議規則第62条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

なお、質問方式は、古河市議会基本条例第11条第1項に規定する(一括質問一括答弁方式 ・ 一問一答方式)で行います。

| 大項目 | 質問事項 | 質問要旨(具体的内容) | 答弁を求める者 |
|--------------|------------------------|---|------------|
| 1. 地域活性化について | (1) ㈱ホリプロとの包括連携協定について | ①令和5年9月20日に㈱ホリプロと包括連携協定を締結したが、現在取り組んでいる施策を伺う。 ②今後の施策展開について市の見解を伺う。 | 市長 担当部長 |
| | (2) 鎌倉市との文化・観光交流協定について | ①令和5年10月31日に鎌倉市と文化・観光交流協定を締結したが、現在取り組んでいる施策を伺う。 ②今後の施策展開について市の見解を伺う。 | 市長 担当部長 |
| | | | |

| 大項目 | 質問事項 | 質問要旨(具体的内容) | 答弁を求める者 |
|------------------|-------------------|--|------------|
| 2. 市有財産の有効活用について | (1) 市バスの利用状況について | <p>①直近5年間における市バスの利用件数、稼働率、利用団体を伺う。</p> <p>②コロナ禍の影響により市バスの稼働率が著しく低下しているが、市バスの稼働率を向上させるためにこれまで実施した施策とその結果を伺う。</p> | 市長 担当部長 |
| | (2) 市バスの能率化について | ①限られた市有財産である市バスが現状有効に活用されているとは言い難い状態である。新たな施策として、市バスの利用範囲を拡大し、能率を高めるべきと考える。市の見解を伺う。 | 市長 担当部長 |
| | | | |
| 3. 日直について | (1) 日直業務について | <p>①過去3年間における3庁舎での日直時の戸籍関係届出件数及びその他問い合わせ件数を伺う。</p> <p>②日直業務の中で、最も時間を要する業務とその要する時間を伺う。</p> | 市長 担当部長 |
| | (2) 3庁舎での日直体制について | <p>①現在の3庁舎での具体的な日直体制を伺う。</p> <p>②現在の3庁舎での日直体制となった理由を伺う。</p> <p>③近隣の筑西市や栃木市は支所での日直業務を廃止し、本庁へ集約している。固定費用削減や市職員の本来の業務へ集中させるためにも、日直を3庁舎体制から本庁へ集約すべきと考える。市の見解を伺う。</p> | 市長 担当部長 |